



**OGK**  
*Giken*

家族にあらたな体験と感動を



家族の移動創造企業へ

## OGKは2025年に向けて 世界の家族にあらたな体験と感動を提供します

OGKは70年以上にわたり、自転車パーツを中心に、お客様の日常に寄り添ったものづくりを続けてきました。

人の心を和ます製品づくりでお客様に貢献するという想いは、創業から今も変わらず受け継がれています。

一方、過去から今日に至るまで、私たちの生活様式は、さまざまな技術革新によって大きく変化してきました。お客様が商品・サービスに求めるニーズやウォンツも、同様に大きく変化しています。その中で、私たちにできることは何か。日常での親子の触れ合いや、家族、友人と共有する時間の価値は今も不变です。どれだけ生活様式が変わっても、お客様が家族とともに過ごす時間は幸せな時間であって欲しい。そのため、私たちは私たちができる仕事を徹底し、進化、革新していきます。お客様の欲しいを実現させる「パイオニア精神」と家族の幸せな時間を共有する「共感力」、安心安全なものづくりや満足度No.1を支える「創造力」、そして、企業と社会の好循環を実現させる「サステナブル志向」。それぞれを私たちにとって大切な価値観と位置づけ、家族の移動創造企業として、世界の家族にあらたな体験と感動を提供する。

これから創業100周年を目指すにあたり、創業からのものづくりへの想いをさらに高い次元へと引き上げ、唯一無二の創造力と独自の実現力で世界の家族を幸せにすることを使命として、私たちはさらなる発展を目指します。



オージーケー技研株式会社  
代表取締役社長

木村 泰治

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Keiichi Kimura".

MISSION**OGKの  
存在理由**

**OGKは創造力と実現力で  
世界の家族を幸せにします**

**OGKは社員の幸せを  
原動力に発展します**

時代の変化とともに家族のカタチや  
時間の使い方が変化しても、  
人と人とのつながりや絆の価値は不变です。  
OGKが培ってきた創造力と実現力で、  
あらたな体験や感動を生み出し、  
世界の家族を幸せにすること、  
それが私たちOGKの使命です。

VALUE**大切にしたい  
4つの価値**

私たちは、パイオニア精神を大切にし、失敗・変化を恐れずに挑戦し続けます

私たちは、唯一無二の創造力で商品・サービスの開発・改善に取り組みます

私たちは、サステナブル思考と長期的な視野で行動します

私たちは、共感力を高めて、世界の家族の幸せを追及します

VISION**世界の家族に  
あらたな体験と感動を**

**欲しいの創造**

時代の変化をつくる共感を創る

**満足度 No.1**

ファンを創造する商品・サービスである

**安心安全**

最高水準の安全を提供し、安心を生む

**循環型社会**

OGKは企業活動と社会の好循環を追求する

**家族の幸せ**

世界の家族の幸せな時間を拓く



# Road to 2025 4つの柱

世界の家族にあらたな体験と感動を提供するため  
“Road to 2025 4つの柱”をスタートさせました。



# ものづくり

世界の家族にあらたな移動体験と感動を創る  
製品を展開しています。

# ものづくりの領域

さまざまな家族の移動へ欲しいを創造する  
OGK の5つのものづくり領域です。

## Family scene

### サイクルトレーラー

家族のお出かけが楽しくなる新しい移動を創る



NEW

「大変」を「楽しい」に  
シフトする!  
家族のための  
サイクルトレーラー

キャミリー  
**Camily**  
CARRY FAMILY

### チャイルドシート

お子さまとの自転車ライフをより快適に 安心安全な親子の移動を創る



抱きしめて守る  
**GRANDIA**  
グランディア

“ケガゼロミッション”  
を  
代表するフラッグシップブランド



安心安全な親子の移動を創る  
チャイルドシート各種



多胎家族の  
子育て支援を創る  
ふたごじてんしゃ

チャイルドシートの快適時間を創る  
レインカバー  
オプショングッズ



子どもたちの未来を守る“ケガゼロミッション 2025”を軸とした製品づくりで、  
家族が安心してお出かけできる社会の実現を目指しています。

## Personal scene

### \ FUN Item /

### 自転車パーツ・アクセサリー

自分らしいサイクルライフを創る

MUNI



### バスケット

快適な買い物ライフを創る



### グリップ・その他

快適な自転車ライフを創る



# FAMILY MOBILITY 2025

家族の移動を快適にし、より楽しむための  
ものづくりにフォーカスしています。



2021

## チャイルドシート

## Camily

## Bicycle

2022

### GRANDIA シールド

自転車転倒時、シートベルトに代わってお子さまの飛び出しの危険を極限まで低下させる新システム。

2023

### GRANDIA ケガゼロ (頭部完全保護)

頭部への衝撃をさらに緩和する新構造を搭載したチャイルドシート。

2025

### キャミリー Camily Debut

子ども乗せ自転車でも牽引できて、スマーズな走行を実現したサイクルトレーラー。これまで大変だった大きい重い荷物もラクラク持ち運べ、自転車でのお出かけや、遊びの可能性がぐんと広がります。「Camily」で、毎日がもっと楽しく！

### キャミリー Camily for Leisure and Town Life

「Camily」の魅力をより感じられるアイテムを充実させ、レジャーやタウンライフでより多くのユーザーにとって「大変」を「楽しい」にシフトするアイテムへ。

### キャミリー Camily for New standard

自転車での移動時だけでなく、「Camily」が新たな当たり前としてさまざまなシーンやモビリティで活用される未来を目指します。



### ふたごじてんしゃ

ふたごじてんしゃを電動アシスト機能でさらに快適に。



### ケガゼロモビリティ

0歳児やふたごなど様々な家族の移動をより安全にするケガゼロモビリティ。

家族の日常の移動を中心にソリューションを創造します。

# 技術革新

金属に変わる万能素材プラスチックで  
多彩な製品を生み出す

軽くて強度があり、しかも鋳がないプラスチックは、熱を加える事で硬くなる熱硬化性と、熱を加えると柔らかくなる熱可塑性の2つの特性を持っています。複合することで、鋼鉄のような硬さもゴムのような柔らかさも実現することができます。この素材の特性を生かして多彩な製品を生み出してきたのが、OGKの技術力です。



変革なくして進化なし  
先入観や常識にとらわれない創意工夫

「できない」という先入観や常識にとらわれない、あきらめない「変革なくして進化なし」の意識を、経営陣から社員にいたるまでの全社が共有していることがOGKの強みです。たとえヒット商品であっても、それに甘んじることなく常に改良アップデートを繰り返し創意工夫をしています。時流に合わない旧商品は廃番していく。そんな新陳代謝を盛んに行っていきます。



自転車用品のトップシェアを握るパイオニアとして様々な素材、構造を研究し、新たな家族の移動を創造する製品の実現を目指しています。

技術を通して世の中をプラスに  
社名に込められた想い

技術開発に際してOGKが常に意識していることは、世の中にプラスになる技術であるかどうかです。お客様の生活を快適にし、しかもメーカーのコスト削減にもなるような社会貢献も技術を通して実現したいと考えています。「大阪グリップ化工」から「オージーケー技研株式会社」に社名を変更する際、OGKに技術を付したのは二代目社長・木村景雨。ものづくりと自社技術への誇りが、社名には込められているのです。



# ものづくり基準

人の心を和ます製品づくりをOGKの原点とし、お客様の欲しいを創造する時代の変化、共感を創るライフスタイルに貢献できるものづくりを目指しています。

## 衝撃に強く、丈夫で劣化しにくい樹脂の特性を活かしたものづくり

OGK 製品の素材には金属を使用していません。ほぼすべてのパーツは、樹脂で作られているのです。その大きな理由のひとつに、安全性があげられます。雨風にさらされることの多いチャイルドシートをはじめとする自転車パーツに金属を使うと、万が一錆びが発生したときに、安全性に大きく影響してしまうのです。また、オール樹脂にすることで金属製よりはるかに軽く、適度にしなるので快適な使い心地も提供できます。



## 柔らかい子どもの肌を守る細部まで追求した安全性

少しでもひっかかりをなくし、ぶつかったときの危険を減らすために、対象年齢が1歳から小学校入学までのチャイルドシートは、すべてのパーツにエッジをなくし、丸みをもたせています。また、リヤチャイルドシートは自転車のキャリヤに取り付けますが、万が一キャリヤが破損しても安全を確保できるよう、チャイルドシートと自転車本体を結ぶ安全ベルトを装備しています。



## 人間工学を取り入れた設計と感性に訴えるデザイン性

1980 年代から社内にデザインチームを置き、「人間工学」と「感性」、相互に刺激を与えあうと同時に両面へ訴えかけるものづくりを追求してきました。新しいコンセプトやモノの存在の意味を考え、独創的な発想をもって豊かな生活のためのデザインを行っています。自転車の部品パーツの生産が海外にシフトする現状の中で、安易な価格競争に走ることなく「日本のものづくり」の真価を發揮することが、OGK の信念です。



## ものづくりの強み スムーズな連携プレー

OGKでは、開発・技術・製造の三課が同じフロアに机を並べています。設計の段階で技術的な疑問や相談事が発生すると、すぐに3つの課で会議を行うためです。さらに技術や金型との連携により、社内の作業工程を短縮できたりコスト削減に繋がったりと、あらゆる面において進化を遂げることができます。これは、開発から製造までほとんどを自社でまかっている OGK だからこそ強みです。



# 安全性への取り組み

## 悪条件下での耐候性を 綿密にテスト

屋外に置かれることが多い自転車。特に日光はどんな製品にとっても劣化を早める天敵です。チャイルドシートの本体につかわれる素材はもちろん、シートベルトやクッションなど、安全性に直結する部品の試験は入念に行います。試験機の内部で短時間に悪条件を発生させ、製品の変化を調べます。



## 万が一の事故でも 子どもの安全を守る転倒試験

自転車転倒の社内独自の試験として、まずチャイルドシートの両ステップに3kgずつ、座席に20kgの重りをのせます。さらに道路の過酷な状況を想定してヘッドレストにぶつかる部分にコンクリートブロックを置きます。この状態で自転車を勢いよく地面へ倒しますが、チャイルドシートに破損はありませんでした。



## 完成品の各部分ごとに 強度を測定

様々な状況で使用される弊社製品は時として想像できない外圧を受けることがあります。時には製品そのものを変形・破壊することでユーザーを守らなければならないこともあります。試験機で大きな力を製品に加えることで、製品の変化具合を見ています。



最高水準の安全を提供し安心を生むため、(一財)製品安全協会が定めるSG規格<sup>\*</sup>よりも更に厳しい独自の安全基準を設定したOGK品質を実現しています。

\*SG規格とは:日用品などを対象に、一定の安全性を保障する制度。対象製品ごとに形状や機能など、それぞれの基準が定められており、基準適合品に対してSGマークが表示されます。経済産業省所管の財団法人製品安全協会が認証し、経済産業大臣が承認しています。

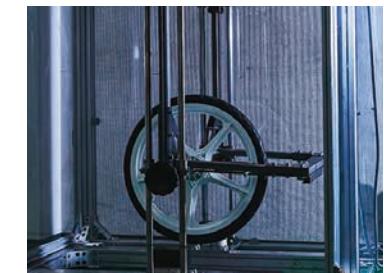
## 各パーツごとにも 強度を測定

製品は部品の組み合わせでできています。個々の部品の性能が製品となった時の性能となるため、試験機で製品に大きな力を加え、製品の変化具合を見ています。



## 強くそして急激な衝撃に 耐えるためのテスト

日常では予想を超える衝撃の発生もあります。製品を落下させて急激な衝撃を加えることで、チャイルドシートをはじめホイール、バスケットなどそれぞれの製品に見合った耐衝撃性能が備わっているかをテストしています。



## 実際に走行している 状況を再現

舗装された道でも段差は必ずあるものです。また、登り坂と下り坂はもちろん、そのときどき路面の状況も変わります。試験機で、実際に自転車で走行している状況を再現。段差や凸凹道を再現し、テストを行っています。



# 製品紹介

抱きしめて守る  
**GRANDIA**  
グランディア

“ケガゼロミッション”を  
代表するフラッグシップブランド

**GRANDIA PLUS**  
R REAR seat

リヤベビーシート  
グランディア プラス  
RBC-017DX PLUS



**GRANDIA**  
R REAR seat

リヤキッズシート  
グランディア  
RBC-017DX2



**GRANDIA**  
F FRONT seat

フロントベビーシート  
グランディア  
FBC-017DX



世界の家族にあらたな移動体験と感動を創る  
製品を開発・販売しています。



## 1歳からはじめるケガゼロ 「抱きしめて守るマーク」



すべての子どもを自転車事故から守りたい、という想いから生まれた「抱きしめて守る」グランディアシリーズ。我が子を「抱きしめて守る」ように、頭から足までの全身を包み込むようなフォルム、安心安全機能を搭載しています。グランディアシリーズではフロント、リヤ共に1歳から使える製品を開発、販売しています。1歳からはじめるケガゼロを伝える「抱きしめて守る」マークをシンボルとして、より多くの家族の安心安全につながるよう広めています。

# ふたごじてんしゃ®

多様な家族の移動を実現するため  
ふたごじてんしゃ社と共同で  
実施している取り組み



幼児2人同乗用三輪自転車  
「ふたごじてんしゃ」  
TWB-001 ver.B(2019年モデル)



## urban iki イキ BY OGK

オランダのデザイナーと  
OGKが作った  
ヨーロッパに展開する  
チャイルドシートブランド



## MUNI

自分らしい  
サイクルライフを創る  
自転車パーツ・アクセサリー



# ケガゼロミッション2025



幼い子どもの未来を守りたい  
OGKの安心・安全ミッション

すべての子どもを自転車事故から守りたい  
“ケガゼロミッション 2025”を宣言します。

# ケガゼロミッション 2025

私たち OGK は、衝突や転倒などの事故事例を収集する中  
 「私たちのチャイルドシートで育ち盛りの子どもを守れないものか」と  
 原点回帰し、“ケガゼロミッション 2025”を立ち上げました。



2021

## 自転車転倒時 子どもの飛び出しぜロ

転倒時、子どもがチャイルドシートから飛び出す危険ゼロを目指します。  
 転倒時のケガはシートベルトの着用で大幅に防ぐことができます。OGK では  
 シートベルトの装着率アップのため、安全に関する情報発信を行うとともに、製  
 品改良を重ね、より安全で装着しやすいシートベルトの認知・普及率向上を目  
 指します。「ハグシステム」を搭載した「グランディアプラス」を筆頭に、子どもの  
 成長に合わせシートベルトのサイズフィッティングができる、装着時のわずらわし  
 さを解消する、安心で快適な製品開発を進めます。



2023

## 自転車転倒時 子どもの頭部“ケガゼロ”

転倒時、子どもの頭を守るため、頭を守る機能の向上による頭部“ケガゼロ”を目指します。ヘッドレストの新構造、新素  
 材の検証を重ね、転倒時に子どもの大切な頭への衝撃を最小限にします。また、自転車に乗るときの転倒や事故を防ぐ  
 ため、交通ルールやマナー、頭を守ることの重要性を改めて認識していただける情報発信を積極的に行い、お客様が自  
 転車移動時の安心・安全に関する知識を得られるワークショップ等を各地で開催します。



2025

## 自転車利用時 子どもの“ケガゼロ”

自転車の転倒をさらに最小限に抑えるモビリティや、転倒時に頭を含めた全身を守る機能の開発により、子どものケ  
 ガゼロを目指します。これにより、0 歳の子どもも安心して自転車移動ができる商品の安全性を追求していきます。  
 また自転車だけにとどまらず、歩行者、自動車など様々な移動手段において事故が起こりにくい未来のモビリティ社  
 会を実現すべく、先端技術を取り入れと OGK のパイオニアスピリットで、様々な形態の移動を安心安全にサポート  
 する仕組みづくりを推進します。

**安心安全に家族がお出かけできる社会の実現をめざします。**

# “ケガゼロ”4つのミッション

## 知る

### 衝突・転倒などの事故事例収集

チャイルドシート自転車転倒による頭部損傷事故は年間**100件**※1にものぼります。2018年度より「子どもの事故防止週間」※1が実施され、保育園や幼稚園でも安全対策の呼びかけが行われています。

※1「子どもの事故防止に関する関係省庁連絡会議」より



※2 頭部傷害基準・乗員の頭部に受ける衝突時の衝撃を数値化 ※3 自転車の事故における、幼児用座席付自転車使用時の子ども(14歳以下)  
\* 2000を超えると死亡する確率が極めて高い <OGK調べ> 出典：総務省統計局ホームページを加工して作成  
([https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/child/weekly\\_2018/pdf/weekly\\_2018\\_180509\\_0003.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/weekly_2018/pdf/weekly_2018_180509_0003.pdf))

### ユーザーの市場調査

年間を通じて、全国各地でユーザーの声をアンケート形式で収集。またユーザー座談会などを通じて定量・定性調査を実施。製品の安全性向上につなげています。



チャイルドシートメーカーとして“ケガゼロ”的未来をつくるため、4つのミッションを連動し取り組みを続けていきます。

## ものづくり

### 安心・安全へのネクストステップ

子どもの脳の9割は6歳までに完成する※  
頭部を守るグランディアの開発へ

※スキャモンの発育・発達曲線より Scammon RE, et al (1930)

収集した事故事例や検証結果から見えたことは、追突・衝突・転倒による頭部側面への受傷が多いということと、シートベルトの装着が頭部を保護する上で重要であるということ。これによって、新しい製品のコンセプトが決まりました。ケガから子どもを守り、ママが使いやすく、見た目にもスマートに…3年以上にわたって試行錯誤を繰り返し「抱きしめて守る」グランディアが生まれました。



※2021年1月  
OGK調べ

2019

「抱きしめて守る」グランディアを開発

**GRANDIA**  
グランディア



1997



業界初  
しなやかで強い  
オール樹脂製  
チャイルドシートを発売

2005



衝撃吸収率約  
90%以上  
頭部を守るヘッ  
ドレスト開発

2011



フラッグシップ  
モデル  
街に映えるデザ  
イン性を重視

2014



子どもをしっかりホールドする  
ベルトの追求

2016



低年齢でも安心  
して後ろに乗せ  
られる製品開発

2018



ふたごの子ども  
に特化した専用  
設計

## エビデンス

### 子どもの頭部を守る 厳しい安全基準を設置

事故から受けるケガから子どもを守るために、常に新しい安心・安全を提供すべく、独自の検査体制を設け、検査基準をクリアした製品のみを市場へ送り出しています。



#### 振動試験

すべての製品を振動試験機にかけ、製品の安定性や耐久性を確認しています。実使用に近づけるため1歳から5歳児までのダミー人形を用いています。



#### 衝突試験

頭部の受傷事故に多い側面衝突シーンを再現するため、自社内に実験スペースを設けました。衝突するスピード、位置によって、多様な状況の確認を進めています。



#### 衝撃測定

振動実験も衝突実験も、子どもの脳が受ける衝撃をHIC値としてデータ収集することで、実際の受傷程度を想定し、製品開発に役立てています。

## お客様相談室

お客様からのご相談やクレームを即日調査し、製品の改善点などを把握。各関連部門へ共有します。特に製品の安全性向上のための改良は最重要視し、検査体制の強化、試験・基準の向上につなげています。



## 伝える

### 親子サイクリングへの 取り組み



子どもをケガから守る製品作りだけでなく、事故 자체を減らすため、親子の安全意識を高める活動を展開しています。「親になったら自転車を学ぼう」をスローガンにした“おやこじてんしゃプロジェクト”と連動して全国で勉強会を開催しています。※オンラインでも開催しています。



**おやこじてんしゃ  
プロジェクト**

supported by OGK

#### チャイルドシートの乗り方講習

各地でチャイルドシートの正しい乗り方、使い方の講習会を開催しています。大人と子ども、どちらもがチャイルドシートを知ることで、笑顔溢れる毎日を過ごしてもらいたい。万が一の事態にも備えるよう事故事例を紹介することも大切な私たちの使命です。



#### 製品理解への取り組み

“ふたごじてんしゃ”においては、ご購入希望者に事前に購入前診断を受けていただく「アセスメント販売®」を株式会社ふたごじてんしゃと協力して実施。購入前から製品理解を深めていただくことで、事故や製品トラブルを生み出しにくい仕組みを構築しています。



# 取り組み サービス

家族の移動をアップデートするため  
リアルとオンラインを通して活動します。



ふたごじてんしゃの取り組み



おやこじてんしゃプロジェクト

# OGK TOWN 2025

家族の未来の移動を描く、OGKと家族、行政など地域の繋がりで成長していくコミュニティづくりを推進します。

## 取り組み

2021

- 📍 OGK TOWN 構想開始

- 📍 幼保への移動手段提案

2022

- 📍 地方自治体との取り組み開始

- 📍 環境に配慮した資材へパッケージを変更

- 📍 サステナブル素材を活用した製品を開発

2023

- 📍 関東、関西それぞれの自治体、幼保でコミュニティ形成

- 📍 新たな当たり前構築の提案型 TOWN 設置

2025

- 📍 全国へ取り組み拡大

環境に配慮し、好循環できる商品・サービスの提供を地域社会との協力で実現

## サービス

- 📍 おやこじてんしゃプロジェクト中心に学びの場提供

- 📍 幸せなタウンライフのための情報提供を強化

各地域での取り組みや活動実績を基に、おやこじてんしゃプロジェクトや SNS での情報をグレードアップ

- 📍 お客様個々の家庭環境、居住環境に最適な商品を提案できる環境を整備

- 📍 ケガゼロモビリティに IoT を活用し、安心安全な移動のための情報をダイレクトに提供



2019年イベントでの様子

「OGKとみなさまで創っていく」家族の未来の移動のコミュニティをめざします。

# OGKの取り組み

多様な家族の移動を実現するため、ふたごじてんしゃをはじめとした企業、行政などの繋がりとともにできる取り組みを推進します。

## ふたごじてんしゃ

ふたごじてんしゃで、家族の移動を幸せな時間にしたい。  
多様な家族の移動を実現するため、ふたごじてんしゃ社と共同で実施している取り組みです。

### 製品理解への取り組み

“ふたごじてんしゃ”においては、ご購入希望者に事前に購入前診断を受けていただく「アセスマント販売®」を株式会社ふたごじてんしゃと協力して実施。購入前から製品理解を深めていただくことで、事故や製品トラブルを生み出しにくい仕組みを構築しています。



### 【表彰】令和2年度 自転車活用推進功績者

OGKのパートナーである株式会社ふたごじてんしゃが、令和2年度 自転車活用推進功績者として表彰されました。



令和2年度自転車活用推進功績者表彰

写真提供：株式会社ふたごじてんしゃ

## あらたな移動を拓くプライベートショー

時代の変化をつくる製品を BtoB 向けで発表し、世界の家族のあらたな体験と感動を生み出す新市場を拓きます。



# OGK のサービス

## おやこじてんしゃプロジェクト

「親になったら自転車を学ぼう」スローガンに OGK がサポートし、全国で勉強会を開催しています。※オンラインでも開催しています。

### 親子サイクリングへの取り組み

子どもをケガから守る製品作りだけでなく、事故 자체を減らすため、親子の安全意識を高める活動を展開しています。「親になったら自転車を学ぼう」をスローガンにした“おやこじてんしゃプロジェクト”と連動して全国で勉強会を開催しています。



### チャイルドシートの乗り方講習

各地でチャイルドシートの正しい乗り方、使い方の講習会を開催しています。大人と子ども、どちらもがチャイルドシートを知ることで、笑顔溢れる毎日を過ごしてもらいたい、万が一の事態にも備えるよう事故事例を紹介することも大切な私たちの使命です。



## イベント

地域のコミュニティでのイベント・勉強会や Web 講座を随時行っています。



幸せなタウンライフのための地域でのイベント、情報発信、オンラインを通したサービスを推進します。

## OGK 情報発信

OGK の公式サイトや SNS では、最新ニュース、製品のお役立ち情報やブランドヒストリーなど、様々な OGK ストーリーを共有しています。



OGK 公式 Instagram



OGK 公式 Facebook



OGK 公式 YouTube

## 家庭ゴミとして分解できる製品づくり

可燃ごみとして分別できるように、分解できる製品づくりを進めています。梱包材を減らし、プラスチック削減にも取り組んでいます。



## 保証、保険

大切なお子さまの安心・安全のため、6歳まで使うチャイルドシートの保証制度です。





# 会社概要

— 東大阪を拠点とするOGK —

|              |  |      |   |
|--------------|--|------|---|
| 社名<br>(英文社名) | オージーケー技研株式会社<br>OGK CO.,LTD  | 取引銀行 | りそな銀行 三菱東京 UFJ 銀行<br>みずほ銀行 三井住友銀行                                       |
| 本社           | 〒577-0066 東大阪市高井田本通 6-2-32<br>電話 (06) 6782-4353 (代表)                     | 関係会社 | OGK Europe B.V. 株式会社オージーケーカブト<br>株式会社韓国 OGK 株式会社グレンフィールド                |
| 代表取締役社長      | 木村 泰治  | 工場   | 水走工場<br>〒578-0921 東大阪市水走 2 丁目 9-53<br>電話 072-964-4551 (代表)              |
| 設立           | 1948 年（昭和23年）9月  |      | 中国工場（昆山奥技研塑膠制品有限公司）<br>〒215-333 江蘇省昆山市蓬朗天文路 18 号<br>電話 +86-512-57617877 |
| 資本金          | 9,600 万円   |      |   |
| 従業員数         | 116 名（2021年2月現在）   |      |   |
| 営業品目         | 自転車用チャイルドシート、バスケット、<br>ドレスガード、発泡車輪、その他樹脂製自転車部品、<br>各種グリップ、その他樹脂製品全般の製造販売 |      |   |



中国工場

## グローバル展開

OGK は日本を中心に海外拠点と各国の代理店を通じて、高い品質と機能性を持つ OGK 製品を販売しております。また、国内および海外市場での販売の伸びに対応して海外生産拠点を設け、生産能力の増強を図っています。





# 会社沿革

## — 自転車用品のパイオニアOGKの歩み —

### 創業者の情熱が受け継がれるものづくりの歴史

素材の持つあらゆる可能性に挑戦し、ものづくりで社会貢献を。半世紀を経た現在に受け継がれてきた創業者の情熱により築き上げた、自転車用品のパイオニアとしての歴史をご紹介します。

**2020-** 2020年（令和2年） 「抱きしめて守る」で変えていくGRANDIA リヤベビーシート グランディア ブラス、 同フロントベビーシートの製造・販売開始

**2010-** 2019年（平成31年） 抱きしめて、守る リヤキッズシート GRANDIA RBC-017DX 製造・販売開始  
2018年（平成30年） 幼児2人乗用三輪自転車 ふたごじてんしゃ 製造・販売開始

不村泰治 社長就任  
2016年（平成28年） OGK Europe B.V. 設立  
2015年（平成27年） 射出成形機 850トン導入  
2013年（平成25年） 第1回プライベートショー開催  
2011年（平成23年） 本社新社屋完成  
ヘッドレスト付コンフォートリヤキッズシート RBC-011DX 製造・販売開始

**2000-** 2008年（平成20年） 幼児・育児関連用品の製造・販売開始（OGK baby）

2005年（平成17年） ヘッドレスト付デラックスリヤキッズシート RBC-007DX 製造・販売開始  
2002年（平成14年） 樹脂成形一体型うしろ子供のせ RBC-003 製造・販売開始  
フリーキャリーシステム導入・販売開始  
2001年（平成13年） 昆山奥技研塑膠制品有限公司設立  
樹脂成形一体型フロント子供のせ FBC-003 製造・販売開始  
ハイバックうしろ子供のせ RBC-005 製造・販売開始

**1990-** 1997年（平成9年） 福祉業界に参入  
1996年（平成8年） 透明バスケット販売開始  
1995年（平成7年） 中空ホイール ストリームV 販売開始  
1994年（平成6年） セラミックファイバーホイール販売開始  
樹脂製膝風バスケットの開発に成功  
1993年（平成5年） 1450オンス2色成形機導入  
エコホイール販売開始  
木村秀元 社長就任  
1992年（平成4年） 水走工場増築  
1991年（平成3年） 水走工場グラスファイバーホイール自動成形ライン完成  
1990年（平成2年） 社名をオージーケー技研株式会社に改称

**1980-** 1989年（平成1年） 水走工場竣工  
1988年（昭和63年） 射出成形によるソフトシェルの開発と輸出開始  
一輪車が日本一輪車協会認定品となる  
大阪中小企業投資育成（株）の投資を受ける  
資本金9,600万円に増資

1987年（昭和62年） 大人用2色バスケットの発売  
日本工業標準規格表示許可工場認定  
製品安全協会登録工場に認定  
一輪車の製造販売・開始  
プロー成形でソフトシェルの製造開始  
ソフトシェル型ヘルメット第1号出荷  
第二次ヘルメットチーム

1985年（昭和60年） SH-202の開発  
日本初のアマ車連公認ヘルメットとなる  
セミジェット型ヘルメットの製造・販売開始  
アメリカ向けサイクルヘルメットの製造・販売開始  
サイクルヘルメットがアメリカの消費者安全規格に合格  
子供車用バスケット販売開始  
優良法人に認定される

1982年（昭和57年） オージーケー販売株式会社設立  
(現：株式会社オージーケーカフト)  
ヘルメット組立工場を新設  
スポーツヘルメットの製造・販売開始

1981年（昭和56年） ジェット型帽体の開発  
射出成形機650トンを導入  
韓国OGK株式会社設立  
1980年（昭和55年） 防寒レシーバーの販売  
BMX用20インチグラスファイバーホイールの商品化に成功 アメリカへ輸出開始

**1970-** 1979年（昭和54年） 夜間・昼間用停止表示器材の製造販売開始  
20インチグラスファイバーホイールの開発に着手

1978年（昭和53年） 双頭式成形機5台に増設  
ロータリー式撇去し姿を消す  
第一次ヘルメットチーム

1976年（昭和51年） ポップガードの販売開始  
タイヤ巻機の第1号導入  
補助車輪でほぼ国内市場を制覇  
アメリカ・ニューヨークサイクルショーに初出展、  
以降各ショーより出展

1974年（昭和49年） 半キャップ帽体の技術確立  
1973年（昭和48年） 双頭式成形機1号機の導入  
西提倉庫竣工

1972年（昭和47年） 自転車用風防の開発  
三輪車用バスケットの製造・販売開始  
西堤住宅の建設

1971年（昭和46年） ローター発泡成形機を導入  
4寸・6寸EVA発泡車輪の開発  
1970年（昭和45年） 150ミリ径 塩ビ車輪の開発  
ショッピングカー業界に参入  
射出成形機によるノーパンクタイヤの開発に着手  
通産省（現、経済産業省）輸出貢献企業に認定される

**1960-** 1968年（昭和43年） 資本金を1,200万円に増資  
同乗器の開発  
1967年（昭和42年） 30オンス射出成形機の導入  
ドレスガードの製造・販売開始

1966年（昭和41年） 幼児車用バスケットの開発  
1964年（昭和39年） 自転車用ヘルメットの開発  
自動梱包機を導入  
MKヘルメットの開発  
以降、2型・3型・5型と製造販売

1963年（昭和38年） 幼児車補助車輪の開発  
90ミリ径塩ビ車輪の開発  
1962年（昭和37年） 塩化ビニール原料の内製化に成功  
金形・成形工場の建設  
幼児車用一体化ペダルの開発

1961年（昭和36年） 射出成形機第2号導入  
射出成形によるグリップ開発  
1960年（昭和35年） 射出成形によるグリップ開発  
射出成形機第1号導入と製造開始

**1950-** 1957年（昭和32年） ベーストレジン流入法による生産に切り替え  
木村景雨 社長就任  
1955年（昭和30年） 木村所有権第1号取得  
塩化ビニールグリップをプレス方式で生産  
1953年（昭和28年） 金属キャップ取付法の新考案と権利出願  
同製品の生産開始

1950年（昭和25年） 東南アジア向けグリップ開発  
通産省（現、経済産業省）「工業用アルコール使用」承認を得る

**1940-** 1948年（昭和23年） 大阪グリップ化工株式会社設立  
(資本金200,000円)  
1941年（昭和16年） 初代社長、木村祥雨 就任  
創業者木村祥雨、「木村セルロイド工業所」を創業

# Be a Pioneer

今日をつくるパイオニア

私たちは常に前へ、そして自ら変化し続けることで  
たしかな、そして新しい家族の「今日」をつくります。  
安全で当たり前、と言えるまでの安全安心を徹底し、  
移動の新しい感動や体験を創造します。

Be a Pioneer

これが私たち OGK の文化。

創業 100 年を見据えて世界中の家族の幸せな未来のために  
世の中にはないものを生み出すパイオニアであり続けます。



家族にあらたな体験と感動を

オージーケー技研株式会社

本社：〒577-0066 東大阪市高井田本通6丁目2-32  
TEL：06-6782-4353(代) FAX：06-6782-4357  
<https://ogk.co.jp>



WEB



Instagram



Facebook